

祭日には国旗を掲げましょう



7月21日 海の日
9月15日 敬老の日
9月23日 秋分の日
10月13日 体育の日

庁報

かみね



敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩に感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

定例評議員会報告

本庁評議員 深 澤 哲 夫

神社本庁の平成二十六年五月定例評議員会が二十二・二十三日の両日に互つて開催され、平成二十六年度一般会計歳入歳出予算案を始め本庁議案、評議員提出議案などを可決しました。本庁評議員会は全国の神社庁長評議員・各県選出評議員（各県選出は一名・三名）・総代会長評議員の十六八名が神社本庁の議場に参集、新年度諸活動方針・予算等神社界全般に互つて話し合う会議です。

開会行事に続いて北白川道久神社本庁統理の挨拶がありました。統理は、本宗と仰ぎます伊勢

の神宮式年遷宮の遷御の儀が、厳肅に斎行されたことを寿ぎ、今年三月二十六日、剣璽御動座のもと天皇・皇后両陛下が神宮に御参拝されたことを挙げ、「洵に恐縮の極みであり、我々神社関係者のこの上ない喜び」と話されました。

また斯界の状況については、「一部明るい兆しもあるが、依然として厳しいものがある」と指摘し、「我々神社関係者は神社本庁憲章の精神に則り、大同団結して、よりよい社会の恢復のため、力を尽くして参らねばならない」と結ばれました。議事に入り議長は中山高嶺氏

（埼玉県神社庁長・三峰神社宮司）が二日間議事進行をおこないました。

始めに田中恆清神社本庁総長（京都府神社庁長・石清水八幡宮宮司）の「平成二十六年度庁務方針・一般会計予算大綱」の説明がありました。

予算編成につきましては、削減すべき処は削減し、より必要性の高いところへ充当したい、また新たな神宮大麻及び暦の頒布向上・推進に係る事業を進めたい、さらに来年は大東亜戦争終結七十年を迎えるにあたり、靖国神社・護国神社の参拝勸奨等、英霊顕彰活動に取組んでいきたい旨、話されました。

平成二十六年度一般会計予算案の総額は四十九億八千七百二十七万円で、前年度当初予算に比して七千二百八十四万九千円の減。歳入では、宮城・福島・岩手三県への負担金減額の特別措置が終了したこと、負担金は増額、また歳出では次年度から展開する神宮大麻・暦頒布の施策のため、神宮大麻頒布向上対策費が千二百万円の増額計上となりました。

議事終了後の自由討論で竹本評議員（埼玉県）は「神宮奉賛について」と題して意見を發表しました。第六十二回神宮式年

遷宮について、広報活動の成果を評価した上で、「国民の関心の昂まりを一時のブームで終わらせぬよう、神宮の神徳への正しい認識を伝え、各家庭への神宮大麻頒布活動の促進を、斯界を挙げて取組む必要がある」と話されました。

また東日本大震災を被災した三県を代表して丹治福島県神社庁長は、義捐金や人的支援・神社本庁の負担金減額措置の斯界からの支援に対し謝意を表明、一方、被災した三県の現状について説明し、復興の困難さを指摘。最後に、近々の発生が予測される大震災について、現在が「震災後」ではなく「震災前」との認識で、「今回の経験を活かし、非常の際に神社界が支え合う意識をさらに昂めてほしい」と話されました。

この後閉会行事・昼食をはさんで、班幣式（神社本庁神殿）午後一時四十五分から庁長会が行われ、午後三時すべての会議が終了致しました。



全国神社総代会定例代議員会報告

山梨県神社総代会 会長

中 込 豊 秋

去る五月二十日全国神社総代会が開催され、平成二十六年年度事業計画、予算案が審議されました。この度岡村正会長が退任され、ご挨拶のなかで、第六十二回神宮式年遷宮の盛儀を通じてわが国の真の姿が顕現されていくことを願致します。なお我々神社総代は祖先が営々と培い、受継いできた文化や価値観を確りと次世代へ受け渡し、わが国の隆昌に寄与していかねばなりません。各位のご協力に感謝致します。謝意を表します。

引き続き新会長に三村明夫氏（日本商工会議所会頭）が第十一代会長に選任され、就任にあたり「伝統ある文化、豊かな心、豊かな自然を守り育てている神社の姿に敬意を表します。その神社を支える総代の仲間に加わることは洵に光栄で、会長の大任に身の引き締まる思いです。輝かしい歴史を受け継ぎ皆様と共に使命を果たして参り度」と決意を述べられました。

翌二十一日池田厚子神社本庁総裁のご臨席のもと明治記念館に於いて神職、総代二百六十二名の表彰式が行われ山梨では、宮下莊一、志村重治宮司、中込の三名が栄に浴した。同夕東郷記念館にて県内より関係代表の皆様方による宴席に招かれ恐縮

しました。受賞者それぞれ今後精一杯神社界発展のため尽力して参ることを各位の前でお誓い申し上げます。

（一）前年度予算より七千二百八十四万九千円の減額とした。

（二）全国神社厚生年金基金の解散に関する件。承認。（実損のない方法で解決する）

最終日、本会議評議員上程八議案のうち特に次の二件が印象に残りました。
※教育の正常化と正しい歴史観

神社本庁表彰を受けて

東八代支部 支部長 志 村 重 治

去る五月二十一日に神社本庁表彰式が東京港区の明治記念館において開催されました。

定刻午後一時三十分の開式、開会儀礼に続き、池田厚子総裁から昨秋の第六十二回神宮式年遷宮のことと、出席者に対し、「日々の御奉仕に益々精励されます様を願います。」と式辞が述べられました。田中恆清総長から表彰における審査報告がされ、北白川統理から東京都の平岩昌利宮司に鳩杖、功績状、顕

を後世に伝えるため、学校教育の更なる充実と明年の中学校教科書の採択に向け諸施策を講ずるよう。

※古事記、日本書紀編纂千三百年の歴史的節目に際し、「日本神話」を恢弘の推進運動を強力に展開するよう。

神社本庁に要望する件。
大変に印象に残る議案でした。

神社本庁の運動も多くは時間を要する運動です。我々の国旗掲揚運動も多く困難と時間がかかるでしょうが、各支部毎に掲揚推進委員会が立ち上りつつありますが誠に力強く思う次第であります。

飾章、長老証書が、各号代表者に功績状、表彰状が授与されました。

山梨からは、第三条第三号表彰を県神社総代会長であり、玉諸神社役員の中込豊秋氏、第三条第二号表彰に小室浅間神社宮司の宮下莊一氏と不肖、私、志村が拝受いたしました。式典では鷹司尚武神宮大宮司と全国神社総代会会長代理、荒巻禎一副会長から祝辞があり、被表彰者を代表して平岩宮司が謝辞を述べ

られ、次いで聖寿万歳を行い、閉式されました。

閉式後の午後三時より渋谷区の東郷記念館において、私達山梨、被表彰者三名の為に神社本庁規定表彰祝賀会と題して、山梨から祝福に駆け付けて下さった根津神社庁長を始め、神社庁役職員の皆様により、会を催してくださいました。

根津庁長から温情深きご祝辞を賜わり、且つ表彰式で下賜された神職バッチ等を我々被表彰者の襟に直々に付けて頂き、一同からの祝福の拍手を受けて胸が熱く感慨無量の思いです。此度の表彰は、身に余る光栄であり、一重に平素ご指導を賜っている関係各位のお陰と感謝しています。又、これを糧に神明奉仕、斯界発展に微力ながら尽して行く所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。



神道政治連盟平成二十六年中央委員会報告

神道政治連盟山梨県本部 本部長 佐々木 幸 永

開会に先立ち去る六月八日薨去されました桂宮宜仁親王殿下に黙祷を捧げ謹んで哀悼の真を奉りました。高円宮典子女王殿下と千家国麿氏とのご婚約内定が発表されました。皇室の文化や伝統が広く知れ渡り皇室敬慕の念が国民に浸透する機会となればと思う。

昭和四十四年に設立。以来占領政策によって歪められた伝統文化歴史を直すため活動してきた。神道精神を国政の基礎へとの思いのもと、皇室の尊厳護持に又、神宮遷御の儀を受け三月二十六日天皇陛下が御親拝遊ばされ、二十年ぶりに剣璽御動座が在った、重儀の意義と重要性を啓発したい。戦後史観に捕らわれない、戦没レジウムからの脱却、我々の思いに添った改憲にむけた気運の醸成に努めて参りたい。自虐史観的教科書を廃し、誇りある国民の育成を目指した教科書の採択されるよう活動するとの長曽我部会長の挨拶があった。また、田中総長、安倍総理が昨年遷御の儀に参列された。総理大臣参列は浜口雄幸以来で歴史に残る事である。憲法改正の気運が醸成されてきているが国民の力が必要であ

る。それぞれの機会を捉えて改憲の意義や必要性を説き明かし今こそ時代の弊風を一洗、民族意識の昂揚に一丸となつて取り組んで行つて戴きたい。

自由民主党石破茂幹事長祝辞・占領時代の憲法で現在の状況に合致していない、自主憲法の制定に全力を尽くして行く、建国祭・天皇誕生祭等に若者の参加を目指したい、私心なく国民の事のみ心して居られる天皇陛下を戴いている大変ありがたいう国である。此の国を守るために集団的自衛権を行使できることは独立国として当然の権利である。国会議員懇談会稲田明美事務局長（行政改革担当大臣）宮崎前会長が申しておりました、神職がお宮の中で祈つていても国は良くならない、鳥居から出て行つて活動する時代である、その力を借りて安倍政権を誕生する事ができました。国民の生命財産名譽等を守る事のできる国こそが真の主権国家である、神風が吹いたとしか思えない政権の実現です、これからも日本を守る活動に取り組む。議案一号から五号全て上程通り承認された。有村治子近況報告があり、閉会となる。

平成二十六年度神宮参与同評議員会・伊勢神宮崇敬会代議員会報告

南都留支部 支部長 渡 邊 主 計

去る六月九日、十日の両日、神宮参与、同評議員会、伊勢神宮崇敬会代議員会が開催された。全国より五百六十四名の参加があり、山梨県神社庁より十八名の参加となった。

一日目、六月九日は新緑瑞々しい外宮、内宮を参拝後、新装なった内宮参集殿に集合し、「第六十二回神宮式年遷宮―建築編―」と「第六十二回神宮式年遷宮―遷御篇―」の映画二本を鑑賞した。九十分の放映時間であったが、古から連綿と継承され継続していく尊さを再確認した映画だった。

その後、神宮会館大講堂へ移動し夕食会が催された。先づ、鷹司尚武大宮司より六月八日に薨去された桂宮宜仁親王殿下に哀悼の意と、斯界へ御心をお寄せいただいた事への感謝が述べられた。そして挨拶の後、参加者と懇親を深めた。

二日目、六月十日午前九時半より内宮神楽殿に於いて大々神楽奉奏の後、神宮会館大講堂に

移動。十一時より神宮参与、同評議員会、伊勢神宮崇敬会代議員会が開会された。開会儀礼の後、主催者を代表して神宮大宮司と豊田章一郎伊勢神宮崇敬会長が挨拶。大宮司は、第六十二回式年遷宮に対して多大なる奉賛、協力に御礼があり来年三月迄続く十二の別宮の遷宮が順調に執り進められていることへの話があった。功労者顕彰では「せんぐう館」の設計、管理の東京都文京区の株式会社栗生総合計画事務所に感謝状と記念品が贈られた。来賓を代表して、北白川道久神社本庁統理と鈴木健一伊勢市長が祝辞を述べた。

議事に入り、高城治延少宮司から神宮の現況について概要説明があり、担当部長から神宮の現状を資料により詳しく説明がなされた。主に、平成二十五年両正宮参拝者数、神宮大麻、暦頒布数推移等の説明があり、伊勢神宮崇敬会より事業報告があり閉会となった。梅雨時であったが天候に恵まれ、有意義な二日間でした。

遷宮記念事業

「自然環境シンポジウム」報告

甲府支部 支部長 小山 利 行

第六十二回式年遷宮記念事業の一環として去る六月三日四日の二日間に渡り伊勢市神宮会館を会場に開催され、本県より根津庁長以下十名の当庁理事関係者が参加した。このシンポは「宗教的環境保全同盟（A R C）」と神社本庁の共催で開催され、国際連合やA R C加盟各国の関係者らも参加し、神社と日本文化の源流である神道への学びを深めつつ現在の国際社会の抱える諸問題について意見交換が行われた。詳細は新報六月十六日号に掲載されているのでその他記事にない部分を報告する。

主催の神社本庁田中恆清総長の挨拶に続き、鷹司尚武神宮大宮司の歓迎の挨拶があった。その中で遷宮の御用材を伐出す御仙山の歴史の経緯が述べられた。第五十七回遷宮（明治四十二年）の時迄御仙山の伐採はあまり計画的でなく山が荒れたようです。その為大正初めの大雨による大水害を招いてしまい、用材確保に黄信号となったこの時帝国大学の教授に依頼をし持続可能な御用材確保の策を探った。遷宮には約一万立方の用材が必要で、それには二千ヘクタールの森林が必要となる。伊勢では松は年輪巾が二mmで、年四mm成長する。百年で四十cm、二百年で八十cmの松が得られる。二十年毎の遷宮御用材を十ヶ所確保する事で二百年を一サイクルとする持続可能な御仙山が確保できるという答申であった。持続的で永続性ある用材確保は、この時に始まり、大正十一年より着手となり、植林と間伐という森林管理が始まった。今回の遷宮では此時の木が用材として役立ち用材中の約二十四%を占めたとの事であった。

いわば間伐材の活用であるがそれでも約百年のかなり太い松である事を考えると更に永続性に厚みを感じられる。但し残り七十六%は木曾の用材を購入するのであり、コストもかなり高いので将来を考えると御仙山からの用材確保が実に重要となる。現在の御仙山管理は年間約三億で二十年間だと六十億以上の費用となる。手を掛けて里山を守り生かす知恵を持っていた先人に習うと共に、遷宮の循環的な持続性に理解を深めた。今

伊勢神宮遷宮パネル展報告

教化委員会 事業部副部長 乙 黒 洋

例年、山梨県神社庁主催 同教化委員会主管により開催している、「伊勢神宮 遷宮パネル展」を、本年も四月二十四日から二十九日の会期で、甲府市丸の内岡島百貨店七階催事場において開催した。

今回は副題を「遷宮を終え新宮が光り輝く時期（とき）」として、昨年十月に執り行われた遷宮の儀を始め、第六十二回神宮式年遷宮の諸祭諸行事の写真パネル約五十点を展示するとともに、その模様を収めたものを始めとする式年遷宮に関するDVDを上映、また諸祭諸行事の解説を記した資料を配付するなど、神宮式年遷宮への理解をより深めて戴く為の啓発活動を行い、また例年同様、神棚の祀り方を紹介するべく、宮形を会

後は実社会に於いてもその精神を生かすと共に、その価値を認識し、更なる啓発に努めなくてはならないと感じた次第である。

場に設け、神宮大麻並びに家庭祭祀の意義を伝えることにも取り組んだ。

会期中の来場者は約千名に達し、式年遷宮並びに神宮に関する事や、神宮大麻についての質問などがあり、毎日交代で会場係員を務めた教化委員が、その都度丁寧に対応にあたった。



禊 鍊 成 研 修 会 を 終 え

神道青年会教化部長 藤 巻 普 紀

去る七月九日晴天の元、北杜市にあるみずがき山リーゼンヒュッテに於いて十五名の参加により主催山梨県神社庁研修所、主管山梨県神社庁教化委員会によって禊鍊成研修会が行われた。

神道青年会の企画運営にて行うということで青年会員を中心に準備と運営にあたった。禊場の清掃、舗設等を行う中、私自身初めての禊研修ということもあり、力の及ばないことも多々ありましたが、教化委員会の諸



先輩方のご指導や青年会員のご協力の下、無事に準備をする事ができました。

開講式で森越義建峡北支部支部長の挨拶の後、研修が開始され鎮魂、禊鍊成の講師には山梨県神社庁禊鍊成行事道彦 佐々木高仁先生、また助彦には中村宗彦先生があたられました。

第一講では鎮魂が行われた。基本的な心構えや所作の後、実際に鎮魂の実技を行った。普段の奉仕ではなかなかこうした神道行法と触れることがないので非常に有意義であった。

第二講では禊作法における振

魂、祓詞、鳥船、雄健、雄叫の一連の作法をご指導頂いた。

県内にはあまり禊を行える場所もなく初心者もいたので一つ丁寧に教えて頂き練習を行った後、禊場へと移動をして御指導頂いた手順の通り禊を行った。

みずがき山の川の水はとても冷たく、また本当に清々しく身体にかけるごとに心身ともに洗

神社庁事務担当者会報告

神社庁参事

飯 田 直 樹

去る六月十八日・十九日の二日に亘り、神社本庁に於いて神社庁事務担当者会が開催されました。神宮並びに全国神社庁の参事・事務局長等の事務担当者が一堂に会して、五月の定例評議員会並びに全国神社庁長会で決定された神社本庁各部の業務や施策を執り進める上での共通認識を深め、各種手続きにおける全国共通の取り決めや庁務取扱上の注意点の確認などを目的とした会議です。

会議は田中恆清総長、小串和夫副総長、吉田茂穂常務理事ご

われるようで、身の引き締まる思いがした。初めての禊鍊成ではあったが、有意義な研修が行えた。この研修での経験をこれからの日常の神明奉仕に役立てていきたい。

ご参加を頂きました皆様また、開催に当たりご尽力を頂きました皆様ありがとうございました。

臨席の下、田中総長を座長とし、神社本庁の各部長より各部業務やこれからの施策についての説明があり、その後質疑応答、意見交換が行われ、非常に有意義な会議となりました。

一日目の会議終了後には、田中総長をはじめ本庁の各部長、課長を囲んでの懇親会が催され、本庁職員、他県神社庁の方々との親睦を深め、活発な情報交換の場となりました。こうした懇親会の場での話は、全体会議に上程して討論する程ではないにせよ、非常に重要かつ知っておいて損のない内容も多々あり、大変勉強になりました。今後の庁務に生かしていきたいと思えます。

まんが古事記

神武天皇(第一話)



お子さん、お孫さんと、

神話の世界をお楽しみ下さい。



「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一―一

神社本庁内

電話 〇三―三三三九―八〇一―

一冊 一二〇円

あらすじ

神倭伊波禮毘古命

後の神武天皇は、

日向国の高千穂宮

で葦原中国(日本)

を治めていらつし

やいました。

命は、この国を

もつと平和で豊か

にしようとして、多

くの人々と御相談に

なつたところ、東

に向つて旅立たれ

ることとなりました。

日向国から船で

河内国に向われま

したが、思わぬ妨

害にあい、命たち

一行は南へくだり

紀州国から上陸す

ることにしました。

そして熊野から

大和国を目指され

た命の一行には、

数々の危難が待ち

うけていました。

命は神々と多くの

人々の協力をえて、

大和国に向われる

のでした。







（二六七号 第二話へ続く）

山梨県神道青年会報告

会長 藤 原 永 起

常日頃山梨県神道青年会の諸活動に対して格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

当会は終戦後混沌とした状況下、先輩諸賢が衰退を辿る民族精神文化の回復と神社神道の興隆を目指すべく創設され、愈々翌年の平成二十七年度を以て創立六十五周年の節目を迎えることとなります。

本周年を迎え、我々は先人の築き上げてこられた輝かしい業績に学びつつ、大八洲を鎮護する神々を祈り祀り、被災地の復興に心を寄せると共に終戦七十



年を迎える翌年、英霊に対して赤誠の想いを捧げて参ります。先人の事業を継承し、新たな未来を切り開くべく本主題を「継往開来」と定めました。神職の本分たる「いのり」を核とし、更なる一歩を踏み出すべく役員会員一丸となり周年事業を完遂する所存でございます。山梨県神社庁を始め県内御社頭の宮司様総代様に於かれましてはより一層のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

本会活動では、遷宮啓発活動として五月二十日に青年会員にて日帰り神宮参拝を取行いたしました。第六十二回神宮式年遷宮は別宮摂社に於いて厳肅に執り行われており、昨年内宮外宮に於いては遷御の儀恙なく斎行され、国民の神宮への関心は高まり千四百万人の参拝がなされました。本事業は青年会員自ら範例となり神宮への道筋を模索しました。今後は遷宮に対して更に広く理解が得られるよう次代を担う世代を見据えた事業を展開して参りたいと思っております。

また、五月三十～三十一日には宮城県岩沼市にて植樹祭を行

いました。瓦礫を活かす森の長城プロジェクトが主催となる復興支援活動です。津波により倒壊した建物の瓦礫を利用し丘を築きその上に植樹するという仕組み、大地に根深く育つシイタブ、カシなどが主であり瓦礫に根が絡むことでより強い樹木となり美しく力強い森を創ることが目的です。約七千人が参加し七万本が植樹されました。参加した青年会員も一本一本丁寧に植え、被災地の復興を祈りました。

これよりは周年事業を中心とした各種事業に取り組んで参りますので、倍旧の御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

山梨県神職保護司会報告

事務局長 石 原 鎮

全国神職保護司会創立二十五周年記念大会が、六月二十五日神社本庁大講堂を会場に開催され、山梨県から山梨県神職保護司会根津泰昇会長を始め八名の会員が参加した。

第一部記念大会では、宮川憲一全国神職保護司会会長が、全国神職保護司会は、平成元年に



結成されてより、今日全国に二十三の都県が単位会を設け、五百余名の会員を有する組織となりて、今後愈々充実した活動が期待されておりますと述べた。

次に来賓として、神社本庁統理ご名代吉田茂穂様、東京都神社庁松山文彦庁長、全国保護司会野沢太三理事長、東京都保護司会連合会菅田倉之助会長、関東地方更生保護委員会笠原和男委員長、東京都保護観察所青木龍彦所長よりの祝辞を賜り、記念大会を終えた。

第二部は、新宿歌舞伎町駆け込み寺を設立、九年の間に二万人も救済してこられた玄秀盛氏を講師に招き「愛と命と魂」と題し記念講演を行った。

第三部は、会場を東郷記念館に移し、懇親会が開宴した。

山梨県女子神職会報告

全国女子神職協議会

関東地区研修会

会員 小林 百合子

平成二十六年三月十七日県外研修は八十半での参加はと思いましたが出席させて頂きました。山梨県女子神職会々長津金先生を始め六名参加致しました。同行の皆様には御気遣い頂き乗り降り等支えて頂き有難うございました。

会場は赤坂日枝神社でした。長いエスカレーターに二回乗継ぎ広く清々しい立派な神社です。参加者八十二名拝殿にて正式参拝を行い、参集殿に於いて開講式後東京都神社庁庁長松山文彦先生の目標を持って発展を成す様との講話を頂き、講演は講師金美齢先生、演題「凛とした生き方」先生は台北出身早稲田大学第一文学部英文科入学、大学院博士課程単位修了して多くの大学講師を歴任、早稲田大学では二十年以上英語教育に携わる。テレビを始め新聞雑誌メディアに於いて幅広く様々な提言を行っていらっしゃる姿です。すくっと立たれ爽やかなお姿で一時間半講演を頂き皆真剣

に聞き入りました。「自分の人生は自分で決める」努力して自己を見る。人は神様の思召を頂き生まれて来た事に感謝。日本は神の国であり天皇を中心の国、今薄れがちな意識を正すべきと思ひ日本人以上日本を知り国を思う心に感動致しました。先生は日本国籍を二〇〇九年に取得されておられます。人生はメリットデメリットが有り切札は何か自問自答して覚悟が必要であり敬意を持たれる人間として信念を持ち充実させて行く。清く正しく美しく先生の講演に心打たれ鈴を正して神職として歩んで参りたく実の有る研修会にお導き頂きました事深く感謝申し上げます。



女子神職会祭式研修会

会員 笹本 恵

ついつい一人奉仕の祭式は疎かになりがちになり上位の足？ここは右足？と考えるのも束の間。無我夢中でお祭り終了。そんな折、津金会長よりお声を掛けて頂き、去る六月二十三日女子神職会主催祭式研修会が神社庁に於いて開講され、参加する事が出来ました。支部でも年に一回開講されておりますが、なかなか参加出来ず、気が付けば十数年振りの研修会となりました。九時開講式より始まり桃井講師の丁寧な御指導を頂き、内容の濃い研修を受講する事が出来ました。ありがとうございました。疑問を持ったら本で確認する。いつの間にか忙しさを言いつに初心の気持ちを忘れており反省致しました。また、御無沙汰していた女子神職の皆様との楽しい時間を過ごす事が出来大変有意義な一日でした。今日の事を頭と体に叩き込み、日々切磋琢磨して行きたいと喝を入れ帰路につきました。

山梨県氏子青年協議会報告

会長 酒井 宏知

山梨県氏子青年協議会総会を六月二十二日日曜日、北口本宮富士浅間神社におきまして各単位数出席の下、開催いたしました。

奇しくも前年の当日、富士山の世界文化遺産化が決定され、また前日二十一日には富岡製糸場が世界文化遺産に登録されるなど、日本の文化が世界に注目されるところとなりました。

お蔭様で日本内外から山梨へ多数のお客様に来て頂き、県内の神社なども多くの参拝客で賑わうなど、二月の災害以降、観光回復の兆しが見えております。

実は総会の始まる前に北口本宮富士浅間神社氏子青年会有志による勉強会が開かれ、権禰宜より神社の由来や建物に纏わる話などを講話していただき、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

各単位数でこのような研修会が開かれていると思いますが、それぞれの神社のお話など、参拝していただく方に説明できるよう励み、多くの方々に神社崇敬の念を広げるのも氏子青年の活動と考えます。今後も各単位数と親睦を図り、研修活動などを通じて山梨の神社の益々の発展を祈念し、無事総会を締めることができました。

祭典を斎行して

北口本宮富士浅間神社

宮司 上文司 厚

富士山大鳥居式年大修理竣工

昨年四月に着工した富士山大鳥居の大修理の竣工祭が、六月十二日に斎行された。

この鳥居は社記によると約千九百年前の神社創始と共に建立されたと伝えられている。時代降って文明十二年（一四八〇）に「再建」の記録が「勝山記」に残されている。以降六十年に一度の再興が慣習となり、十三回の「再建」「修理」が数種の古文書に確認できる。前回は、昭和二十六年（一九五一年）の「再建」である。その時期を迎えるに当たり、まずは耐久の調査を行ったところ、今回は再建には及ばず、修理を施すことで次代に繋げることができるという結果を得た。

修理と雖も、十八mの木造では高さ日本一の両部型鳥居なので相当に大掛かりな修理となった。二本の主柱には補修を施し、左右前後四本の七、二mの袖柱と左右前後四本の一〇mの袖貫は全部取替え、塗装は全面一新

し、筭木の銅板も全て書き直した。竣工祭当日は朝から雨模様だったが、約四百人の参列をいいただき、大前にての竣工奉告祭の後、鳥居中央高く掲げた、これも装い新たな「三國第一山」の額の除幕式の次第となった。この時には雨も止み、梅雨空に晴れ間が見えてきた。宮司、当社の佐々木総代会長、根津庁長、堀内富士吉田市長が引手となつて、幕が除かれたと同時に、鳥居周辺に集まった参列者や一般参詣者から大きな拍手が沸き起こった。感動一人の時であった。参列者参詣者全員が鳥居をくぐり、各自改めて参拝する「通り始め式」の後、会場をハイランドリゾートホテルに移しての祝賀会となり、お祝いの雰囲気溢れる宴が続いた。

中一日置いての十四日、竣工奉祝記念の稚児社参を催行した。約五百人の氏子中の幼児、児童と保護者が街中の「金鳥居」を午前九時過ぎに出発、沿道で見送る人も進む先々にいた。途中、観光バスが止まり中から降りてきた大勢の外国人観光客が盛んに写真撮っている光景も見られた。神社までの約二キロの行程を聊かのトラブルもなく盛況のうちに終えた。

工事が事故なく工程通りに完遂し、伴う祭典、記念行事も無事仕舞えることが出来た今、六十年毎の式年大事業に携わったことを稀有の光栄と心より有り難く感じている。

お稚児の可愛い姿を思い出し次代に託す思いも一層強くなった。

浅間神社

宮司 古屋 真 弘

「梅折枝の神事」について

笛吹市一宮町に鎮座する浅間神社には御神木として、県の指定天然記念物の「夫婦梅」があります。樹齢は二百年と言われていますが、江戸時代末、大神幸祭の最中、甲府市国玉で折枝の献上をうけ、それが現在の夫婦梅の元と言われています。

毎年一月末から二月の始めには紅い花をつけ、二月中には満開になります。普通の梅と少し違い、紅梅の花の中にめしべが二本あります。結実する時には、対になって実が出来る、珍しい梅です。

この夫婦梅が実をつけ、それを収穫し御祭神に感謝申し上げます。お祭りが「梅折枝の神事（うめのおりえのしんじ）」です。

故事にならない、陰暦四月第二亥の日（今年は、五月十六日）に斎行されます。

早朝、夫婦梅の樹より、手折られた梅の枝をご神前にお供えし、収穫の感謝とこの梅のご神徳である、子授け、安産、良縁成就を祈念し祝詞を奏上致します。直会には、夫婦梅から出来た御神酒（梅酒）を頂きます。

浅間神社では、子授けのご祈願においての方に、御札、御守とあわせて、この夫婦梅の実を、おさがりとして差し上げています（お酒に漬けて食べられるようになっていいます）。お家に帰り、ご夫婦ともに祈念して、この実を頂くと子宝が授かるといわれ、全国各地からお参りに見える方が沢山おられます。また、子宝が授かったとの御礼のお参りに来られる方も多く見られます。

「梅折枝の神事」は

一年一回ですが、子授け祈願は毎日お受けしておりますので、どうぞお参り下さい。



支部だより

峡南支部

峡南支部総代会総会

並びに記念講演

支部長 市川 行 治

五月十日快晴の土曜日、中富総合会館に於いて峡南支部神社総代会総会が開催されました。出席者は七十七名、根津庁長・中込総代会長に御挨拶を頂き、二十五年度事業報告・決算、二十六年度事業計画・予算案等審議され原案通り決定されました。

続いて、総会において峡南支部国旗掲揚推進会議の設置奉告と総代各位の協力をお願いし、



参加者記念品として国旗バッチ五十個を無料配布しました。更に、国旗掲揚の啓発のため赤池誠章参議院議員による『国際社会における国旗・国歌の意味』と題しての記念講演を行いました。

国旗の成り立ちや、国際的な取扱のルールを含め資料を示してわかりやすくお話し頂きました。講演後の意見交換では、国旗のイメージについて意見交換がされる等全員一致で賛成とは成りませんでした。が、啓発活動は息を長く続けていくものと考えています。

当日は、総会終了後『伊勢神宮式年遷宮奉賛会解散式』を開催し実績報告及び奉賛金協力のお礼の言葉を市川嘉雄支部長が申し述べました。

北都留支部

神社参拝研修旅行

支部長 渡 邊 學

北都留支部と総代会の企画による神社参拝研修旅行が五月十九日より二泊三日で山形県に二十五名の参加のもと行われた。大月・上野原各地よりバスに乗り中央道、圏央道、関越道を走り越後一宮彌彦神社に正式参拝をした。義経の伝説で知られ



る名勝笹川流れを遊覧船にて見学、あつみ温泉たちばなやに泊る。翌日は出羽三山神社へ羽黒山頂の三神合祭殿に正式参拝、今年は十二年に一度の盛儀午歳縁年と蜂子神社御開扉と特別な年に参拝する事が出来た。蜂子神社は出羽三山信仰の礎を築かれた第三十二代崇峻天皇の御子蜂子皇子を祀る。この蜂子皇子の御尊像を明治以降初めて一般に公開する。

昇殿参拝の後、湯殿山有料道路を登り出羽三山の奥宮とされ修験道の霊地湯殿山神社へ、大鳥居の先は通行止めの為大鳥居より本宮を遙拝する。多量の残雪に霊地を感じつつ下山し上山温泉古窯に泊り、翌日は山形県郷土館の文翔館の見学をして帰路についた。

祭典日程

7・21	7・28	7・30	7・31	8・1	8・10	8・13	8・15	8・17	8・20	8・22	8・24	8・25	8・26	9・1	9・6	9・7	9・8	9・9	9・14	9・15
甲斐市西八幡八幡大神社茅輪祭 甲斐市中下条松尾神社秋祭	河口浅間神社太々御神楽祭 奉謝鎮祭	韮崎市若宮八幡宮例大祭 (三十一旦)	柴宮神社秋祭 千塚八幡神社秋祭 (一) 御崎神社みそぎ祭 甲斐市中下条松尾神社みそぎ祭	都留市石船神社夏祭	七保町瀬戸春日神社例大祭	山梨縣護國神社みたま祭 (一五旦)	大月市畑倉春日神社例祭	昭和町西条義清神社源義清大入命霊祭 富士山小御獄神社例祭 南アルプス市飯野若宮神社灯籠祭	石和八幡宮三日祭 (撰社祭)	中央市布施八幡神社夏越祭	巨摩八幡宮三社合同祭	富士河口湖町白山神社秋季例大祭	北口本宮富士浅間神社鎮火祭 (二七旦)	都留市四日市場生田神社 (八朔祭)	大月市鳥沢福地八幡神社例大祭	大月市猿橋町三嶋神社例大祭	甲府市東光寺山八幡神社例祭	勝山富士御室浅間神社秋季例大祭 (神輿祭)	飯田八幡神社秋季例大祭 甲府市宮前町八幡神社例大祭 大月市浅利神田神社秋祭	富吉田市上暮地神明社例大祭 忍野村内野八幡社例祭 都留市田野倉

甲斐国一宮 浅間神社 古屋眞孝名誉宮司をねぎらう会 古屋眞弘宮司就任 祝賀会報告

浅間神社欄宜 植 松 真 芳

平成二十六年六月二十八日
「甲斐国一宮 浅間神社 古屋眞孝名誉宮司をねぎらう会 古屋眞弘宮司就任 祝賀会」を根津神社庁長様始め浅間神社責任役員他数名が発起人となり、神社界始め政界、財界他、県内外より約一六〇名の方々が両宮司の御祝いの為、笛吹市内ホテル春日居に集まりました。

古屋家は浅間神社累代の社家であり、宮司職は七十数代を数えます。平成二十五年十二月二十日 古屋眞弘様が七十四代目の浅間神社の宮司様に御就任となり、前宮司である古屋眞孝様は本年一月二十日を以て名誉宮司の称号が授与されました。名誉宮司は浅間神社御鎮座以来初めてとの事です。

当日は小雨の降る空模様でありましたが、予定通り午前十一時三〇分 浅間神社総代会駒井副会長の開会の辞より開式となりました。発起人を代表し浅間

神社三井総代会長が挨拶、次に根津神社庁長様、古屋眞弘宮司が最初に奉職した東郷神社名誉宮司松橋暉男様、お二方が祝辞を述べられました。記念品・花束贈呈にては宮司の長女、次女より花束贈呈がされ、続いているお二人よりの謝辞にて名誉宮司様が永年の御奉仕の中での経験と時代の苦難等を述べられ、次代への期待を込めお話になると、それを受け古屋宮司より皆様への御礼の言葉、御自身の将来像等々思いの丈を述べられました。

祝宴となり県総代会中込会長の乾杯発声により開宴、食事の間には清興「ひまり」のお二人が歌と話しにて盛り上げて戴きました。「ひまり」は男性デュオグループで、宮城県気仙沼にて復興支援の際、古屋宮司と出会った意気投合してよりの御縁だそうです。気持ちのこもった歌を御披露戴きました。

また、過日、御婚約された出雲大社千家欄宜様も前日より山梨に御来県になり御臨席されました。千家様の周りには人が絶えず、何度も集合写真にお付き合いを戴きました。会場全体に「御祝い」が溢れ、楽しく御歓談、宴もたけなわとなりました。時間となり、東八代支部志村支部長の万歳三唱、浅間神社総代会両宮副会長の閉会の辞にて解散。大盛況の裡に納められました。

新たな御縁を沢山戴き、また貴重な経験もさせて戴きました。



10・13	10・12	10・11	10・9	10・8	10・6	10・5	10・4	10・1	9・25	9・23	9・22	9・20	9・19	9・18
市六山町諏訪神社秋季例祭	塩山熊野神社秋季例祭	山梨市大井保八幡神社秋季例祭	延町西嶋若宮八幡神社秋季例祭	穂坂町倭文神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭
市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭	市六山町諏訪神社秋季例祭

今後の予定

【緑陰子供会】

日時 平成二十六年八月十七日(日)
場所 石和八幡宮(土橋英宮司)

内容 笛吹き石和町支部一〇九四
神社参拝 ゲーム 紙芝居 火
鑽り実演 行灯作り 雅楽鑑賞

参加対象者 小学生

主催 山梨県神社庁
山梨県神社庁教化委員会、
山梨県神道青年会

協賛 石和八幡宮氏子総代会、山梨県
神社庁東八代支部、山梨県神道
雅楽会

【浦安の舞研修会】

一、上級者向け研修
日時 平成二十六年七月二十四日(木)
午前八時半から受付
午前九時から午後五時まで研修

場所 山梨県神社庁
一、初級者向け研修
日時 平成二十六年七月二十五日(金)
午前八時半から受付
午前九時から午後五時まで研修

場所 山梨県神社庁
【雅楽研修会】
日時 平成二十六年八月四日(月)～五日(火)

場所 山梨県神社庁
【第十四回神社関係者囲碁大会】

主催 山梨県神社庁
山梨県教育関係神職協議会
後援 山梨県神社総代会、山梨日日新
開社、山梨放送
日時 平成二十六年八月十二日(火)
午前九時～
会場 山梨県神社庁

参加資格 一般の部
神職・総代・氏子崇敬者

青少年の部

参加費 幼保・小学生(各部門一〇名程度)
一般の部 一団体につき 五、
〇〇〇円、青少年は無料

申込期日 七月二十八日(月)まで
申込先 山梨県神社庁
※問い合わせ先

高野 英夫 〇五三・四四二・二五〇
小佐野 文夫 〇八〇・四四二・一三〇三

【全国神社総代会大会】
大会日時 平成二十六年九月九日(火)

会場 岐阜県長良川国際会議場
研修旅行 平成二十六年九月九日(火)
旅行費用 三五、〇〇〇円

【全国敬神婦人大会参加旅行】
日時 平成二十六年九月二十四日(水)
～二十六日(金)

場所 鹿児島県(大会会場 城山観光ホテル)
参加費 一〇三、〇〇〇円

【山梨県神社庁顧問参与会】
日時 平成二十六年九月二十五日(木)
午後三時

場所 ホテル談露館
【山梨県神社関係者大会】
日時 平成二十六年十月二十四日(月)
午後一時

場所 コラニー文化ホール(山梨県立県
民文化ホール)大ホール
内容 第一部 神宮大麻暦頒布始祭
第二部 式典

【新穀感謝祭】
日時 平成二十六年十一月二十日
(木)・二十一日(金)・二十二日(土)

神宮では御垣内にて特別参拝、神楽殿
での御神楽の奉奏が執り行われ、「干支
の飾り皿」が参拝記念として撤下されま
す。

宿泊ホテル、行程、参加費は支部によ
って異なります。支部役員・神社宮司に
お尋ね下さい。

支部総会報告

峡南支部総代会総会
日時 五月十日(土) 午後一時三十分

場所 中富総合会館
峡北支部総代会総会
日時 五月十六日(金) 午後二時

場所 魚光会館
東八代支部総会
日時 五月十七日(土) 午後二時

場所 浅間神社
峡中支部総会
日時 六月二十七日(金) 午前十時

場所 櫛形生涯学習センター
各総会には根津庁長、中込総
代会長が出席しました

今後開催予定の支部総会
甲府支部神職総代会合同総会
日時 七月二十二日(火) 午後一時

場所 ベルクラシック甲府
北都留支部総代会総会
日時 七月二十三日(水) 午後二時

場所 大月市民会館
峡北支部通常総会
日時 七月二十五日(金) 午後三時

場所 魚光会館
東山梨支部総会
日時 八月下旬を予定

場所 山梨市民会館
南都留支部総代会
日時 十一月四日(火) 午後三時

場所 ハイランドリゾートホテル&スバ

10・14

八代町北熊野神社秋季例大祭(一
五日) 身延町下山一宮賀茂神社例
大祭 市川三郷町宮原浅間神社秋季
例祭(神楽祭) 韮崎市武田八幡宮例
大祭 鰺沢八幡神社秋祭 塩山竹森
玉諸神社例祭

10・15

山梨岡神社例祭 山梨市三ヶ所諏訪
神社例祭 石和八幡宮秋季例祭 南
アルプス市笠屋神社秋季例祭 下
熊野大神社秋季例祭 石和町佐久
神社例大祭 塩山上於曽田天神社
例大祭 勝沼雀宮神社例大祭 鰺沢
八幡神社秋祭

10・17

柴宮神社秋季大祭 酒折宮例大祭
千塚八幡神社例祭並慰霊祭 一宮町
末木西の木八幡宮例祭 船津八王子
神社参籠祭 船津簡口神社参籠祭
新屋山神社秋季例大祭 上吉田山神
社例祭 富士吉田市諏訪内山神社例
大祭 韮崎市大草町南宮大神社秋
(新嘗祭) 甲府市宮原宇波刀神社秋
例祭

10・18

身延八幡大神社例大祭
南アルプス市上諏訪諏訪神社例祭
中央市成島八幡神社例祭 桐原軍刀
利神社秋祭 忍野村内野天狗社例祭
甲斐市富竹新田神明神社例祭 市川
三郷町城山神社秋季例祭 甲斐市長
塚神社例大祭

10・19

山梨市大工天神社例祭 甲斐市西八
幡八幡大神社例祭 富士河口湖町白
山神社秋季紅葉祭

10・20

山梨市大工天神社例祭 甲斐市西八
幡八幡大神社例祭 富士河口湖町白
山神社秋季紅葉祭